



(共 8 段)

371

めくれず



結了

15年2月8日

法1387 號

貯國 542 號

發送 校合 淨着



局長



課長

兼



法 監 法 法

相澤

郵便為替送金ノ取締ニ関スル件

案示

年月日 貯金局長

滿洲國郵政總局長  
蒙疆郵電總局長  
中華民國臨時政府郵政總局長  
關東進信官署進信局長

宛 (各通)

件名

主務課編纂

滿洲國、蒙疆及北支宛

輝啓 陳者本邦振出

滿洲國宛  
蒙疆宛  
北支宛

向郵便為替

關東宛

内地、朝鮮、台湾、樺太及南洋振出貴管内

ニ付テハ同一人一箇月ノ送金限度ヲ千圓ト定メ之ヲ

超エルトキハ野金尙ノ承認又ハ大藏大臣ノ許可ヲ

得セシムルコトトシテ外國為替管理ノ取締ヲ實行政務候處

滿洲國宛

貴國

宛為替

蒙疆宛

蒙疆

北支宛

北支宛電信為替

關東宛

貴管内宛為替

ノ現行制度ニ於テハ  
ノ内閣勅令方式ニ依リ

(共8號)

取扱ハ本邦關係上各地ノ郵便尙ヲ利用シテ送金

スルトニ依リ右制限ヲ濫ルモノナキヲ保シ難キ

事情ニ有之候就テハ貴方ノ御協力ヲ得テ右

取締ノ徹底ヲ期シ度ト存候間一爾今同一差出

人ヨリ同一受取人ニ宛テ各地ノ郵便尙ニ於テ振

出シタル数口ノ為替ニシテ其ノ合計金額カ千圓  
ヲ超エルモノノ拂渡アリタルトキハ其ノ都度為替ノ  
細項及受受人ノ住所氏名其ノ他参考事項ヲ  
當局ニ御通知相煩度此段及御依頼候

(満洲國、蒙疆及北支完ノモノニ限リ 敬具)

理由

満洲國、蒙疆、北支及関東州宛為替ニ付テハ一箇月千圓  
ヲ限度トシ取締ヲ實行シ居レル處一般銀行ニ於ケル取  
締トノ均衡上現行ノ取締ヲ強化セラレ度旨大藏省  
側ヨリ口頭、非公式ニテ数次ノ申入アリ  
右ニ對シ當局トシテハ取締ノ困難及效果ノ莫ニ鑑  
ミ制限額ヲ引下ケルコトニ及對シ現状維持ヲ主  
張シ居レリ

就テ、現行制限ニ依ル取締ヲ可及的徹底セシ  
ムル為拂渡ノ側ニ本安ホノ通措置方依頼セシ

トス

裏面白紙

昭和十四年十二月八日

朝鮮總督府財務局長 水田直昌 印

大藏省爲替局長 中村孝次郎 殿

外國向郵便爲替又ハ郵便振替ノ  
送金制限ニ關スル件

首題ノ件ニ關スル郵便事務取扱方ニ付本年七月二十八日附貯國第二  
九二七號ヲ以テ遞信省貯金局長ヨリ内地各遞信局長宛通牒シアル趣  
ノ處朝鮮ニ於テモ右ト同一内容ノ取扱方ニ關シ各郵便局所長ニ對シ  
遞信局ヨリ通牒シ居レリ、然ルニ右通牒ニハ  
(イ)外國向送金(第三國)ニシテ送金許可ナキ場合ニ於テ百圓以内ノ  
モノハ之ガ受付ヲ爲スコト

大藏省

規格 B 5.

375

(ロ) 關東州、滿洲國、蒙疆及北支方面向送金ニシテ千圓以内ノ場合ハ之レガ受付ヲ爲スコトト定メラレ居ルヲ以テ外國ニ對スル送金ニシテ郵便ニ依ルトキハ比較的容易ニ其ノ目的ヲ達セラレ外國爲替管理ノ取締上幾何ノ間隙ヲ生ズルコトトナルノミナラズ銀行ニ於ケル取扱トノ間ニ均衡ヲ失シ取締上支障アル實情ニアリ一應右通牒ハ當局ニ合議ナクシテ發セラレアル次第モアリ遞信局ニ對シ取締ノ強化方照會致シ置キタルモ貴局ト遞信省トノ間ノ接衝ノ經緯並ニ右ニ對スル貴局ノ御意嚮至急御回示相煩及照會候也



26  
12

市  
の  
麻  
布  
0742  
飯  
倉  
町

第  
一  
新  
買  
次

秋  
袋

速  
達

377

在中物なし



十二月二十六日  
大長有向  
伴  
理  
清



在中物なし

裏面白紙

昭和十四年十二月二十六日

伴 望 検査済々

貯 金 向

古 券 之 納 付 込

稱 管 道 日 持 自 一 節 申 話 一 書 類 以 此 一 週 二

右 之

小 事 申 査 枚 相 年 之 右 要 用 一 申 上 以

切 具

大 藏 省

目 列 〇

十二月二十六日

伴 望